THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第四十一號

毎週金曜日發行

婦人週報

本號目次

□私娼の行衛……小橋三四子
□時事週評
□我が國婦人の進歩の障害は何
△出立を誤つた日本の新らしい女……麻生正藏
△培養の不足……安井哲子
△經濟の壓迫……内ヶ崎作三郎
□一人一評＝弘田由己子……エム、ケイ
□菊を見る人の爲めに……花崖
□アンナ、カレニナの須磨子と孔雀……民子
□いかもの食ひ……薄田斬雲
□濕つた日の戸障子の開閉……藤井かう子
□赤ん坊展覽會……清子
□辨當の菜に……手塚かね子
□オハナシ「虹」……久野赤子
□古池のほとり……廣田花崖
□時事……編輯室より

婦人週報社

大正五年十月六日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

定價一部四錢五厘　郵送料五厘

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

美容素 白粉下 オキシナー

色を白くするに最良なる

過酸化水素の漂白、消毒作用を利用して化學的合理的に創製せる

最新發明の美顔料！

高貴御料

従來の白美劑や化粧品に失望したお方や更に美しく成らんと望まるるお方は是非御試用あれ

▽色を白くし、肌理を細かにす△
▽皮膚の汚を去り、素顔の美を增す△
▽白粉のノビノリを自由自在にす△
▽日燒、水マケ、白粉燒を癒す△
▽脂肪を含まぬお化粧クリーム△
▽髭剃後に使用して正に天下無比△

定價　大 四十錢　小 二十錢

外國で發明し日本で製造す

全國到る所の化粧品店、藥店、小間物屋にて販賣す。若し手近に無き際は郵税四錢を添へて直接本舖に御注文あれ。

□ 見本並に「美人となる秘法」を申込まれよ。

發賣元
東京市 オキシナー商會 赤坂溜池
（電話新橋三六二六）（振替東京三四〇〇九）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私娼の行衛に就て

婦人會は起つて其の身の上相談に應ぜよ

□東京の私娼窟漸く凋落

近く私娼撲滅策に就て丸山警保局長の方針を親しく聞きました。この困難な事業が着々進捗して、今や東京市中の私娼窟と名の附いて居る場所は、全滅もしくは凋落の氣運に向つて居り、更らに私娼の行衛に就ても、周密なる注意の拂らはれて、再び人知れぬ處に散在して醜業を營まぬやうに、親しく訓戒を與へ、漸次好成績を擧げられて居る事を知つて、喜びに堪へませぬ。元來から云へば公娼を廢止して、私娼に及ばなくてはならぬのでせうが、病毒傳播等の取締り上、先づ私娼を全滅して、公娼に及ばんとの、警視廳の意志であるとの事です。かくては却つて公娼は安全といふ觀念に驅られて之れに赴く人を多からしむるやうになりはしなからうか等、說として論ずれば、さま〴〵の非難もありませうが、この一擧が、いかに一般の氣風肅清に與つて力ありしかは、思ひ半ばに過ぐる者があります。

□命懸けの仕事

丸山氏がこの理想を斷行するに當つては、幾多の困難があつた斗りでなく、眞に命懸けでありました。『あの男さへ無いものにすれば、自分等の營業は、尙立續いて行くものを』との聲が四方に起つて居るにも拘らず、夜密かに私娼窟を視察して、實況を調らべたり、或は營業者、醜業婦に親しく會つて、他に業を轉するやう、懇々說諭する等、殆ど官職を離れた社會敎化の事業に迄及んで、今日の成績を擧げられて居ります。バットラー夫人が英國に於て、公娼廢止の運動を初むるや、幾度か鐵石の飛ぶ間を、身を以て逃れて、其の實績を納められたのは、人も知る處でありますが、こは同性の爲めといふ強い愛心が、身命を忘れしめたのでありますが、我が國の、バットラーは男子にして、しかも、官界に在る人に、圖らずも其の人を見出したる事は、寧ろ不思議な社會と申さねばなりませぬ、

□同性の鋭敏な眼光

然し醜業婦に說諭を加へ、これをして飜然正業に就かしむる等の敎化に關する事は、當然心ある婦人の手に委ねられたら、一層良好な結果を見るでせうと思はれます、今日直ちに警視廳の或る部に婦人の官吏を採用すると云ふ事は許されないにしても、團體を結び、資を募つて、社會矯風、敎化の目的を以て居る婦人會はかゝる機會を見て、自ら進み出で、何分の助力を添へる程に、機敏でありたいと思ひます。實際婦人の敎化は婦人でなければ、出來ない部分があります。殊に世の風波に揉まれて、貞操の價値も知らず、良心の痲痺した女は、空淚や、虛構の事實を以て、人を瞞着する事には、長じて居ります。同性はこれを見拔く事が、異性よりも鋭敏であります。先づこれに向つて嚴肅な態度を示して、奪ふべからざる威嚴の下に、徐ろに身の上相談

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に應じて其の方針につき、眞に溫かい同情を以て、力を貸してやつたら、烏が鷺になる程、困難なこれ等の人々の回心も略ぼ理想に近く行はれませう。

□積極の方針に向つて

近頃新紙に某婦人會に關係ある貴婦人方が、內職奬勵の目的を以て狀袋を刷られて居るといふ事が稱へてありましたが、狀袋を刷るといふ事が、勞働の神聖を敎へて、刷らぬに優る事は萬々でありますが、我が國の婦人會が、多くは會員自身の敎育に止つて、積極に時勢の要求に應じて、起つに至る迄の實力に乏しい事を嘆かずには居られませぬ。會の相談會と云へば、多くは如何にして會員の親睦を計るべきか、如何にして會計を豐かならしむべきかと云ふ位に止り、總會は形式的の報告や、名士の講演、餘興等を催すのみで、婦人會が一つの必要な目的に向つて、活動するといふよりも、社交上の義理に結ばれて居るといふ形であります。我が多くの婦人會が、周圍の情實を排して、一つの大なる目的を捉らへて、之れに向つて活動を始むれば、必ず會員の實力も增し、云はず語らずして一致協力も成就せらるゝであらうと思はれます。而して會の指導者たる者が、もし目をあげて社會を見れば、今や婦人の手によりて營まれなければならぬ事が、群り起つて居ります。私娼の身の上相談を引受くるなども、當に其の事業の一つに數へらるべきものであります（三四子）

時事週評

□大隈內閣愈よ總辭職か　幾度か辭職を傳へられて居据りたる大隈內閣も、今回愈よ總辭職と決定したるらしく、今や暗々裡に盛んなる政爭を見て居ります。後繼內閣としては大隈侯は衆議院の過半數を占むる大政黨の總裁たる加藤子を推し、山縣元老は其の閥族寺內伯を推さんとして居りますが、閥族內閣の現出を恐るゝ國民の輿望は、加藤子に集まるのも無理ならぬ事であります。大隈內閣が高遠の理想を掲げて、舞臺に上りたるにも似ず、其の政治上、外交上、非難を招きたるもの多く、近くは濫賞問題にて、世の反感を買へるは世人の記憶に新らたなる處であります。然し官僚系內閣に比して、政治上には久しく目や耳を覆はせられて居つた私共婦人にとつても、多くの親しみを持ち、社會の廓清、風紀の振肅に、首相自ら尠からぬ力を致された大隈內閣と別るゝは、確

二

かに今迄にない損失を覺えます。

□簡易保險の盛況　別項時事欄に記載したる如く、簡易保險は其の初日に於て申込數殆ど八千の多きに上つたといふ事です。社會の最も健全なる分子の勞働者の上に、不慮の備へといふ觀念が加はる事は、國民の發展の上に尠なからぬ好果を齎らすでありませう。かくて養老院や救濟事業が成るべく必要の少くなるやうにしたいものです。

□タゴール氏の日本觀　先頃桑港に到着したるタゴール氏は、日本人の如く人々が互に抱く說を傾聽する餘裕なく、稍もすれば壓迫を加へんとする狀態の下にありては、大思想家の出ないのも當然であると云はれたのを電報欄で見ましたが、この苦言は我が國民の反省を促す資とならば、幸ひであります。人の意見を尊重して、先づこれに時日を貸し、取るべきは取り、捨つべきは捨つるといふ廣やかな態度はタゴール氏の云ふ如く確かに一般に缺けて居ります。

□東京の虎疫總數　初發以來九月二十七日迄に發生した總數は二百三十四人、內病院收容前の死亡者六十人、收容治療中の死亡者七十六人、全治退院十人現在治療中の者八十八人との事です。幸ひにも昨今の冷氣と共に、その流行も、下火となつて來ました。我が東京府の人口三百四十萬に比すれば、其罹病者、僅か二百三十餘名に止つた事は、衞生思想普及の結果と見る事が出來ます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我が國婦人の進步の障害は何？

出立を誤つた日本の新しい女

日本女子大學校學監　麻生正藏

□壓迫的な空氣

近來婦人の自覺を促し、其の地位の上進を希ふ聲は大分聞えて來たが、實際婦人が自ら起つて事を營み、活動して居る狀態を見ると多くはまだ喜ばぬ傾向があります。これは因襲に伴ふ感情が然らしむるので、別に理由はないのであるがこれを一掃するのは容易な事ではなからうと思ふ。それ故婦人は壓迫的な空氣の中に生息して居るから、なか〳〵元氣も出難いが、偶々この境涯を脫却しやうと振ひ起つ者があつても、頭を出せば直ぐ打たれる、一旦失敗しては、もう取返へす術がないといふので、臆病心が先立つて、平和に居るには、出ないに限るとなつて、賢く隱れて終ふ。それ故知識も行詰るし、人物も一向大きくなる機會がないのであらうと思はれます。

□一軍人の憂慮

軍人と云へば、思想問題などは、頓着なく、從つて婦人の進步などには冷淡であるべきですが、先日私の遇つた一士官は、歐洲の大戰を見て、つく〴〵英獨佛の婦人の活動振りに感嘆し、國家を千載の安きに置くには、どうしても婦人をあのやうに役に立つ者にしなければならない。日本婦人が今日のやうでは、國家の前途も案じられると云はれて居りましたが、私共女子教育家にとつて、局外者から、さういふ言葉を聞くのは、大に喜ばしい事であります。然し扨嫁を娶らうとする時には、出來る丈け夫唱婦隨に都合のよいやうな柔順な者をと云ひ、我が娘を托するに當つても、ピン〳〵跳ねるやうに作つて貰つては、困るといふ有樣です。

□誤解されたる文學の感化

現代の新らしい女と云はれる人々が、多少能力や勇氣が拔んでゝ居るにも拘らず、多くは文學系統の新知識によつて覺醒された爲か、誤つた現代思想の犧牲になつて居るのは誠に遺憾な事と云はねばなりませぬ。現今行はれて居る飜譯書を繙いて見て多くの誤譯を見出しますが、同時に書物全體に漂ふて居る氣分が汲めぬ爲めに、眞相を誤り傳へて居ると惜しまれるものが多々あります。例へば、エレンケー女史の戀愛の自由や、離婚の自由などが、直ちに自由戀愛となり、自由離婚と解釋せられて、半面に含んで居る精神的の深みは、閑却されて、動物的行爲となつて現はれて來るといふ有樣なので、これを讀む人々に自然誤つた感化を與へる事になるのです。かくして日本の新らしい女の初めの出立が、面白くなかつたのは、確かに婦人の向上に一偏見を與へたのであります。歐米の婦人が學

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

識を博めて、其の頭腦を啓き、品性を高めて、漸く積極に延び、種々の社會事業に及んで、近くは婦人參政權運動に成効せんとしつゝあるのに比らぶれば、我が婦人界は、前途尚遼遠であります。然し婦人の進歩に敢へて奇を衒ひ、突飛な眞似をしたからとて、強ちそれが捷徑ではないのであるから、やはり着實、健全に修養を積んで、次に積極的に働らき出したら婦人の向上が婦人自身の爲めにも、社會の爲めにも、幸福な事とうなづかれるやうにならうと思はれます。

培養の不足

女子高等師範學校教授 安井哲子

□培へば成長する

現代の女子になぜ人物が無いのでせうか。何故もつと女子が覺醒しないのでせうか。これを女子全體の上から考へて見ますのに、其の大なる一因ともなるべきものは、一般の女子が充分に發展し得べき地位と境遇とを有つて居ないと云ふ事です。偉大な人物となるべき素質を有つて居るものは、或はそれを表はすに足るべき自由な境遇、都合のいゝ機會を與へられなくても、長い年月の間には、何かの場合に多少は現はれる事がありませうが、斯う云ふ特殊の人をもつて、全體を推す事は出來ません。多くの人の能力は培へば成長する事が出來ますが、適當の境遇を與へなければ伸びる素質があるとも認められるものでも發展を見ずに終つて了うことがよくあります。

□男女教員の優劣問題

近頃八釜敷い問題となつて居る、小學校の男女教員の優劣と云ふ問題に就いて考へて見ましても、一口に女子の能力が男子に劣つて居ると云ふ事は云はれないやうに思はれます。或は現在表面に現はれて居る處だけを見れば、幾分劣つて居る處があるかも知れませんが、一つ溯つて、女教員を教育する時の事を考へて見なければなりません。家庭に於て、學校に於て、男教員を教育すると同樣な、自由と境遇とを與へ、全く同一の程度に於て、同じ年限の教養を積ませて來たでせうか、又一度校門を出でた時に、社會は男子に與へたと同樣の待遇を女子に與へ且つ同一の責任を負はせて、其の思ふ處に向つて遺憾なく活動させ、凡て男子と對等たる事を快く許したでせうか。それで尚ほ女子が男子に劣つて居ると云ふのならば、愈々女子の能力は嘆ずべきものでせうが、所有境遇に於て、女子の能力の發展を妨げて置いて、良好な結果が得られないと云うて無能力視するのは、餘りに慘酷の事だらうと存じます。

□女兒教育上の注意

家庭に於ては兩親が、女兒の能力を發展させる爲めに努めて便宜を與へ、同時に精神の圓滿な發達を計り、強壯の身體を造る事に充分の注意を盡し、學校に於ても同樣に、教師が自分の理想にばかり生徒を引き寄せようとせず、一人々々の個性を認めて、それを完全に發達させるやうに導くと云ふ方法を取り、更に進んで高等の教育を受けんと熱望するものゝ爲めには充分の便宜を與へて、如何なる方面に向つても容易に學習し得る樣に、門戸を開いて置き、又社會は眞面目なる女子の學習、研究、生活に對して成るべく同情を表し、且つ出來る丈けの補助を與へたならば、女子は眞面目に自己の存在の意義を考へ、自分と社會、自分と人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

類との關係を明らかに意識して、一の信念の下に生活し、其の家庭的生活と社會的生活を營むとの訣なく、價値ある生活を爲す事が出來やうと思はれます。

經濟の壓迫

早稻田大學教授 內ケ崎作三郎

□原因は遠きにあり

婦人が大きく廣やかな、偉大な人物になれない理由は、一つは婦人に對する數百年間の壓迫が然らしめたのだらうと思ひます。試みに太古及び上古時代の婦人の上を見ますに、彼女等の中には可成り大きくなり得たものがあつて、政治の方面に文學の方面に蹈出して居ります。しかるに佛教が這入つてからは、佛教の中のある思想が婦人を特別穢れた所のあるものと見なして之れを卑しめ、壓へるやうにしたのと、且つまた儒教などでも夫唱婦隨の思想を以てしたので、自ら女は控目にせねばならなくなつたからでありませう。かうした何百年と言ふ時の因習の力が、婦人が大きく伸びて行かうとする芽を手折り、今日になつて、何故婦人に人物が出ないかなど丶言ふ悲しい叫びを叫ばせるのです。播いた種が芽ぐむのは當然のことで悲しきことながら、止むなき事實だと思はねばなりますまい。

□偉大なる人物の背景

いま假りに男子の方で、如何な背景を持つた人が大きく伸びて行つたかと考へますと、勿論少數の除外例はありますけれど、第一に肉體的にも精神的にも善き遺傳を有すること、第二に比較的長い歲月を修養に費す自由を有すること、第三に天下を普く歷遊して種々な人物と交際し、或は意見を戰はして刺戟を受けること、第四に何か大きな機會に出會すこと等の原因が必ずあつたやうで有ります。之れ等の要素がなければ、如何に偉くなるべき素質のある男子でも、伸びていかうとする芽が伸びずに枯れて了ふやうに思はれます。

□今日でも人物はある

この故に若し婦人に男子に與へられてゐるだけの條件を許すならば、必ず大成するに相違ないのですが、未だその便利が與へられてないから、兎角を論ずるのは少く殘酷なことのやうな氣がします。

歐米の婦人もその途が開かれるやうになつてからは續々と傑出した婦人が出てゐる。日本の婦人は今日の如く極めて恩惠の少ない時に於てすら點々と光つてゐる婦人が見えるから、機會と準備の時を與へてその天分を充分發揮させるならば、すく〳〵と伸びていくだらうと信じます。唯學校一つでも、男子の爲めの大學は可成りにあらうが、その門戸を婦人の爲めに開らいてゐるのは幾校ありませう。又婦人の爲めに費す教育費は男子の爲めに費す夫れの何十分の一でせう。之れ等のすべてが同程度になつた時にはじめて婦人の眞價が現はれ、會心の時代が來るでせう。婦人はまづ自らの爲めに、自分達の地位を着々進むべく熱烈な要求と動力を起さなくてはならない。女子教育の爲めに女の視學官を設ける程の要求がなければならない。

□經濟狀態が惡い

最後に結婚前まで極めて有望であつた婦人が、結婚して家に這入つてからは眠つたやうに芽の縮むものがあります。之れは同情すべく悲しむべき事實で、その原因は主として經濟の爲である。現代の

五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本の中流社會は頗る餘裕のない生活を營んでゐて、男子が職業の爲めに必要なる書物さへも、ろく〱買へない有樣であるから、況して其の家の主婦たる者は、月に二三十錢の雜誌さへも、容易に取れない斗りか、自分の健康を保つ丈けの滋養物をも遠慮しなければならないといふ始末であります。その上大抵の家は系累が多くて、我が一家の生活に追はれて居る上に、他人の家族迄面倒を見なければならないと云ふ有樣である。それ故修養を繼續する暇もなく、夫と共に旅行もすれば、社交場裡にも出入して、見聞を廣める事なども、無論出來なくなり、かくて年を經る中には、所謂世話女房となり果てるので其の境涯は實に同情すべきものがある。

かゝる現狀の下にある婦人に、もつと活潑に社交界にも出でゝ、交際の圓滑を助けよ、然らざれば藝者不要論も成り立たないとか、我が國の婦人は、眞に家庭の娛樂を與へる術を知らないとか云つて攻擊するのは、云ふ方が無理である。中流家庭の主婦にもつと生き〱した生活をさせやうとならば、社會の經濟狀態から改めて來なければならぬ問題で、これは今後識者によつて、次第に改善される折があらうと思はれる。然らば財力豐かな上流社會の婦人は生活の壓迫もなく己のが希望に向つて自由に發展して行く事が出來るであらうと云はれるかも知れぬ。然し今後は知らず、現今の場合に於ては、上流社會の人達には比較的天分が缺乏してゐる場合が少くない。故に家庭としても社會としても天分ある婦人を充分に保護し、指導すれば、自らその天分が伸びて大成し大人物が生れ出るやうになると思ひます。

(一人一評)

弘田由己子

□平塚雷鳥女史のやうな新らしい女の巨魁を生んだ女子大學は、更に今の世に紫式部や春日局を理想に持つた弘田由己子女史を出すとは、誠に謎のやうな雰圍氣と申さねばなりませぬ。しかも雷鳥女史が一と度其の理想を大膽に實行するや、靜かに其の意志ある所を究めずして、世間の攻擊非難は雷鳥女史を通して、盛んに母校なる女子大學に飛び、母校は遂に雷鳥女史を卒業生の名簿より切り捨てゝ、全く孤城落日の境涯に陷らしめました。

□純日本式の女性は今日の世には尙幸福であります、弘田女史は卒業後母校の教諭として、寮監として、浮き世の外に十有餘年を過し、今日澄宮御用掛の恩命を拜するや、これ獨り女史のみにあらず、母校の光榮なりとして、内にも外にも賞讚の聲高き中に、女史は大任を恐れ畏しこみつゝも、限りなき榮譽を擔うて母校より九重の奧深く引移られたのであります。

□女史を知る者は、何れも適材を適所に置かれたことを喜ばずには居られませぬ。其の殆ど一家を成したる古雅の文章や和歌と、其の規矩準繩に適ひたる動作とは、今日學校生活をした者の中に求めても、恐らく容易に見出し難き所でありませう。しかも君國の爲めに死を鴻毛の輕きに置く女史の心情は、必ずやこの無上の光榮に報いるに遺憾なきを得るでありませう。

（エム、ケイ）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

菊を見る人のために（上）

花蓬

□菊は準國花

佛蘭西の國花百合と同樣の筆法で行けば、我國の菊花は皇室の御紋章であるから、當然我國の國花でなければならぬ筈であるが、併し國花としては櫻花が旣に世界的に認められ、且歷史的に之を觀るも我國民との交渉は櫻花に於て更に深大なるものがあるのであるから、菊花は先づ以て準國花の地位を占むるものと觀て差支あるまい。

□菊花御紋章

さて第一に菊花の御紋章に就て考へて見るのに、種々の記錄に據れば白河院の建て給ひし法勝寺の瓦にも菊の紋が付けられたし、御鳥羽天皇御作の刀劍の銘には菊の御紋が附いて居て今でも之を秘藏する刀劍家もあると云ふが、併し其頃は花瓣の數なども一定して居らず、菊花の觀賞が漸く盛になつて來てから、時々皇室の御紋章に用ひられたことはあつたにしても、未だ以て一定して居なかつたらしい。而して之が朝家の御紋と決定されたのは後花園天皇の頃であつたらうと云はれて居る。それは同天皇の永享九年十月廿一日の「室町殿行幸記」を見ると御召物から御調度迄に菊花をお附けになつたことが見えて居るからである。次に此紋章が皇室の御專用となり、一般の使用を禁止せられたのは豐臣秀吉の頃で、其禁止令は秀吉及び德川家康浮田秀家等の連署に依つて出て居る。明治になつて此御紋章の一般的使用が一層嚴重に禁ぜられたことは今更事新たにお話する必要も無い。

□キンリサンスモン

是處に菊が皇室の御紋章であると云ふことから附會したのだか、洒落たのだか兎に角面白いことがある。それは菊の英名クリサンシマムはキンリサンスモン即ち禁裡樣の紋から出たのだと云ふのである。併し之は前にも云ふ通り附會にあらざれば洒落である。菊は學名をクリサンテマムと云つて之はクリソス即ち黃金、アンテモン即ち花なる二個の希臘語から成つて居るので、其意は黃金色の花である。惟ふに菊の原色は黃なのでせう。支那でも菊は黃を以て正色とすと云つて居る。云ふ迄もなく菊科に屬し、さうして其親玉である。其花瓣は筒狀を成し、繁殖上最も有利なる形式を有し、植物界に於ける最も進步したる花であることは今更贅言する迄も無いが、更に花瓣に然うした形式を有すると云ふことは、後にも記す如く、觀賞上に好ましい價値を添える枝折となつて居るのである。

□菊を詠じた最初の歌

類聚國史を見ますと、桓武天皇の延曆十六年十月に天皇の菊の御製がある。それは

このごろのしぐれの雨に菊の花
ちりぞしぬべきあたらその香を

と云ふのである。さうして之は菊を詠じたる最初の歌として一般に信ぜられて居るものである。尤も此以前、聖武天皇御製として續古今集に「百敷にうつろひわたる菊の花、匂ひぞまさる萬代の秋」と云ふのがあるが、併し此歌に就ては本居翁も「この歌は更にそのかみのふりに非ず、痛く後の世のさまなり」云つて信を置いて居ない。あの美しい花と匂とを持つた菊があの頃迄國風に表はれなかつたと云ふことは、又一面に菊が漢土からの舶載物であることを示すもので、其時代に就ては仁德天皇の御宇と云ひ、或は奈良朝と云ひ、甚しいのは神代とも云ふが、兎に角其栽培は桓武帝頃から漸く盛になつたと見て差支ないであらう。

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アンナ、カレニナの 須磨子と孔雀

觀客の心をそゝる 兩女優の甘い物語

□戀する女は美しい

過ぐる九月の二十六日、帝劇に於ける藝術座公演劇アンナ、カレニナの初日であつた。

『キッテーさん、すべて戀をしてゐる女は美しいと言ひますが、ほんとに貴孃のお美しいこと。今日はあの方も入らしつてよ。お嬉しいでせう。』純白な夜會服の裾を長く後に曳いた、丈の高い、美しい須磨子のアンナは、水々しい處女の純潔をふくよかな胸に疊んだ誇らしげに見える孔雀のキッテーを抱擁しながら、勞はるやうに言ふ。『是非きまりをお決けなさいな。幸福な人！』

若いキッテーはあの方も入らしつてよとの自分の戀人の噂さに秘められてゐた心の的を射抜かれたやうな恥しさから、ポッと顏を赧めながら、けれど甚く嬉しさうに、女王のやうに艶麗なアンナの腕に抱かれながら、唯『えゝ』と頷いて恍惚としてゐる。二人をとり圍む舞臺の上は言ひ得ぬ甘い空氣が流れて、觀客の心をそゝる。私もその心をそゝられてゐた人の一人であつた。劇の筋は斯うである。

□アンナカレニナの梗概

廣いロシアの國内に於て、雙ぶ人なきほどの美人で、しかも飛ぶ鳥をも落すほどの權勢ある國務大臣アレキシス、カレニナの夫人である交際社會の花と謳はれてゐるアンナが、曾つて自分が祝福してやつたキッテーの戀人少壯士官ウロンスキー大尉と相逢つて道ならぬ戀の虜となり、夫カレニナの嚇したりなだめたりしてアンナの心を飜さうと百方手を盡すその心盡しをも省す、愛なき結婚の罪惡を說いて斷然夫の手を離れ、之れも職を棄て、友を棄て、故國を棄てゝ、唯甘い戀を逐ふウロンスキー大尉と伴へて南の國ヴェニスの空で、自由な樂しい月日を送る。けれど歡樂の夢は醒め易い。溶けるやうな甘い夢が次第に淡くなるにつれ、故郷の空が戀しくなり、アンナは愛兒セルジの上を思ひ詰めて遣る瀨なく、遂に二人は再びロシアに歸へる。歸つてからもまだ醒め切らぬ戀の甘さに二人は醉つてゐたが、久しくウロンスキーの胸中に虐げられてゐた社會的の野心の芽が目覺めるに連れて彼の心は徐ろにアンナを離れて他の女の方に傾いて行く。夫れをほのかに知つたアンナは極力愛人の心を自分の上につなぎ止めやうと努めたがすべては空しく、徒らに不安と焦躁と幽愁とに心が閉ぢ込められる許りであつた。その時久しく會はなかつた兄夫婦が前の夫カレニナの離婚承諾の報を得て、新らしくアンナの幸福を築き上げさせやうと訪れたのに際し、今更らに悔悟の思ひにかきくれ、冷たき風の吹き荒ぶモスコー近郊の闇の一夜に、哀れ艶美な生涯の幕を鐵路の上に閉づると言ふ悲劇であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

之れは露西亞の文豪杜翁の原作を某佛蘭西人が脚色したのを、更らに飜譯したものである。

『之れを杜翁が見たら泣くだらう！』と一露西亞人が言つたとか言ふほど杜翁の描き出さうとしたもの丶總ては現はれてゐなかつたけれど、戀の擒となつて盲目になり易い人間の弱點のみは遺憾なく見せつけられてゐて、氣持ちが宜かつたしかして感情一片の戀が、如何に人間の眞實の生活から遠いもので、眞實の生活を營まうとする人に妨害であるか、且つ生活の原動力を涸渇させるものであるかが判然と見せつけられたやうで快かつた。が私はその劇に對すると同じ度合に舞臺の上でアンナとキッテーとを演じてゐる二人の女優、須磨子と孔雀の現實生活を興味あるものに思はずにはゐられなかつた。

ロ二人の女優の背景

須磨子は藝術座の大立物で、その甘い蜜のやうな物語は、もう人の心から忘れられるほど古くはなつたが、戀の勝利者となつて誇つた生活を營んでゐる人である。

孔雀は近代劇協會の主催者上山草人氏の意中の人、親を捨て、家を捨て丶草人氏に走つた同氏の愛妻浦路子の愛を割かせたとか言ふ人である。兩女優の艶聞は限りなく世間に傳はり、うら若い人の心を、また中年の人の心を、老年の人の心を、夫れ〳〵に脅かし去つた事はあれど、今は、多くの人は、その未來を物珍らかな眼で見送つて何事も言はなくなつた。光りなき所に生命はない。アンナの戀は冷たい鐵路に終つた。彼女等の行末には如何なる世界が展れる事であらう。唯眞實の生活を營む人の上にのみ榮えと輝きとがあるだらう！（民子）

右から四人目が孔雀のキッテー
左から二人目か須磨子のアンナ

オ・ブロンスキー伯（アンナの兄）の書齋の光景（一幕目）

この頃

安中花子

鬼となり魔ともならずば世の中の唯一人をも忘れ得ぬかな。

殊更に蛇といふ字が氣にかゝりクレオパトラなど繙きて見ぬ。

我がために泣きたまふ人住める世ぞ涙ながさでほゝゑみてあらん。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いかもの食ひ（一）

薄田斬雲

□物嫌ひの人間

私は何時も腹や口が滿足する迄物を食ふ事はない、それで居て食つた後で胃が重苦しくなる、つまり鬼飢道の苛責です。夫れ丈け何かうまいもの變つたものを食ひたい念が絶ず有らうと云ふものです。

江戸ッ子はきまつた物の外は滅多に食はない樣です、却々愼みが好いのです。私の子供などは、私の樣なガサツな親にも似ず、お膳の上を見て見馴れない物はてんから目を瞑つて箸を付けやうともしません。都會生活は斯程に人間を退化させるものかと情無くなります。人間は精神的に新らしい思想を注入する必要ある如く、變つた食物を、常に攝取しなくては腦味噌に黴が生えます。

□いかものゝ種々

西洋のいかもの食ひ連中は毛虫を食ふと云ふが、私は、毛虫、胡麻虫、尺とり虫、蚯蚓などは、とても食ふ氣がありません。郷里に居る頃、東京では蕎麥切りのだしに蚯蚓を入れると聞いたものですが之は話丈でせう。以下私の實驗した變り物を紹介します。

□生。海。丹。今夏青森の海岸に滯在中、海岸の岩から自から生海丹を捕つて食ひました。甘味があり、海水で洗ふと丁度好い鹽かげんで、誠に結構なものです。

□蝦。蟇。之はがま即ちいぼ蛙です。のそ／＼と庭先を歩るく大きい奴です。皮をむくつて四肢丈を取ると、丁度雀の四肢そつくり、色も鮮かです。之を附け燒きにして食つたら美味いもので、あくどい脂肪もありません。手品師が、がまの油と云ふ事を云ふ位ですから、餘程人體に效があるでせう。高山へ行くと、深流に沿ふて一里餘も群居して居ます。うまく料理したら普通食品として結構と思ひます。

□松。の。實。之は朝鮮で食つたのです。朝鮮五葉松と言ふのが、大きい松がさが生りますあの松かさの一皮づゝに、小指の爪位の實がある、夫を朝鮮では肉と一所に煮て食ふので、最初はやに臭くて變でしたが、二つ三つ食ふと馴れて臭くありません。火箸の尖端へ刺して點火すると能く燃えるので、油が強いものです。之れは滋養にもなるでせう。

朝鮮支那では、干した棗を能く砂糖煮して食ふし、舶來でも棗の砂糖漬けがあります、東京では木へ生つて居るのは見ますが賣物は見た事がありません。西洋では棗は精根を強くすると能く食ふ樣です。

□松。葉。汁。之は黒松の葉を煎じて含嗽するのです。口熱を除去するとて、知人の老母が常用して居るので、私も折り／＼うがひして見ました。思つた樣にやに臭いものではありません、後が清々します。

□薩。摩。芋。の。若。芽。之は若芽を二三寸處、葉が二三枚付く位に摘み取り煮て灰汁を出し、胡麻よごしでも三杯酢でもよし、甘味があり、蔓菜に似た處があります。

□南。瓜。の。葉。莖。之は南瓜の葉の莖を、蕗を食ふ樣にして、胡麻よごしで食ふのです、今夏歸郷して出會した御馳走です。結構なものです。（續く）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

濕つた日の戸障子の開閉

女醫　藤井かう子

□黴菌を持つた空氣の浸入

この頃或る一派の人は、冬でも夜でも乃至は雨降りでも、戸障子は開け放して置くがよいと云ふ説がありますが、然しそれで隨分健康を害なうことがあります。殊にこれ迄の人の不注意に過したのは、濕つた日の戸障子の開閉であります。この頃ですと座敷等を掃除した儘、雨降りでも寒さを感じなければ閉めませぬが、元來雨天は空氣の壓力の爲め椽の下に入つて、黴菌を持つた空氣が、室内の溫つて輕くなつた空氣を滿さうと、どん〳〵内に入つて來ますから、裁縫等をしながら、自然それを吸ふことになれば、きつと健康を害します。障子ならば氣孔から空氣が流通しますから、別段開けて置く必要はありませぬ。

□體溫の調節の上に

夜の空氣も濕つて居りますから、勿論宜くはありませぬ。殊に直接に外の空氣が寢室に入るのは、夏でもよろしくはありませぬ。たとへ濕つた空氣でなくとも、體溫の調節が出來かねますから、風邪をひく基になります。もし外氣を入れたいと思ふならば、外氣が迂回して、其の寢室に入るやうにしたら、よろしいでせう。且西洋人の寢具と日本の寢具とは大分違つて居りまして、西洋人のはすつかり身體がくるまつて居りますが、日本人のはすき〳〵になつて居ります。又氣候も日本位濕氣の多い處はありませんから、西洋人のするやうに、自由に戸外の空氣を入れる事は、間違つて居ります。

□建築上の相違

建築上にもまた西洋と日本とは異つて居ります。西洋間ならば、四疊半は漸く一人の空氣を供給して行くのみですが、日本室ならば、同じ四疊半で四五人は大丈夫です。かやうに日本の建築はよく云へば換氣が行はれ易く、惡く云へば粗造ですから、その上にまた開け放し主義をとつては、餘り外氣が入り込み過ぎる事になります。家庭に在る働らき盛りの御婦人の弱いのは、室内の空氣などゝ云ふ所からも來て居るでせうと思はれます。

□十月の白木屋　同店の秋季大賣出しは十月一日から例年の通り始まつて居るが本年は催物としては新製品陳列會を主として七五三祝着模樣陳列がある。新製品陳列會は春秋二季に催ほして已に十分知れ渡つて居るが友禪帶地御召を始めとして毛織物モスリン木綿物に至る迄本年當季の新規製織品を蒐集陳列するので今秋の流行は此催しを一目すれば直に判る譯なのである七五三祝着模樣陳列會では七五三向きの模樣圖案に染め上げた實物を多數取揃へてあるので注文する上によい參考となるであらう。尙は九月から催ほして居る謠曲裾模樣陳列會は十月になつても引續き開催されて居るので十月以後は必要期にも入る事とて來客は一層群集する事であらうと推察される。此外餘興としては「晝の夢」といふオペラ風の物で例の少女音樂隊の連中に依つて演技される上品な一幕が見られる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤ん坊展覽會

年々に盛況に赴く

□御自慢の赤ん坊を抱いて

第四回赤ん坊展覽會は既報の通り、巣鴨の帝國幼稚園で一日午後一時から開かれました。御自慢の大きな赤ん坊を抱かれたお父さまお母さまは「日本一」と賞められたさの一念に、東京市内はもとより、千葉、埼玉、山梨、神奈川邊からも朝まだきからひし〳〵とつめかけて、定刻迄には廣い園内も人を以つて埋められました。校長西山悊治氏は夫人と共に、可愛らしい生徒までが甲斐々々しく走り廻つて、氣持ちよく來會者の招待やら、檢查のお手傳ひやらに忙がしうございました。

□來會した赤ん坊の數

當日來會した赤ん坊は一月生三五人、二月生卅三人、三月生四五人、四月生二七人、五月生三〇人、六月生二〇人、七月生一三人、八月生四人、九月生八人、十月生一四人、十一月生一九人、十二月生一三人計二六一人中、男兒一七六人、女兒八五人を數へました。いづれもお誕生前の赤ん坊さんに見られない程、立派な體格をもつて、にこ〳〵さ無心の笑をもらして居りました。

□當日の兩大關

この多くの中で先づ人目を驚かしたのは、砲兵工廠の職工で府下西大久保五番地の青木友松(五一)氏の長男辰男さんの體重三貫目、胸圍一尺六寸五分さ云ふ見事な體格です。聞けば辰男さんは三月二十四日生れで、お母さんお君さんは(二五)十九歳の時に十九貫の體量がお有りになつたさか。「こんなに目方は無いさ思つて居りましたのに」さ云ひながら嬉しさうにいそ〳〵しながら歸へられました。その後暫らくして表はれたのは、某會社員で横濱岡野町五一番地の清田好男(三七)氏さくにえ(二七)さんの間にお生れになつた次男の明さんで、三月十九日生れ生後百九十七日目の今日、體量三貫百三十匁目胸圍一尺四寸五分さ云ふ體格を持つて居られるのは、實に拔群の譽れさ申してもよろしからうさ存ぜられました。お母さんのくにえさんは現在十四貫の體量がおありになるさの事で、共に婦人さしては見事の體格です。長男さんさ明さんさは今後ごちらの發育が勝つて行くか、審査して居られた、稻垣小兒科醫に

十二

家庭お化粧 (7)

▼▼▼神聖な家庭の象徴▲▲▲

▼▼▼現代要求の化粧法▲▲▲

――健實な家風と化粧――

――健全の皮膚と美貌――

此の進んだ現代に於て要求せらるゝ眞のお化粧、即ち科學によつて、美しくなるべきことが說明し得らるゝ化粧法は、必ず「美しくなる」といふ效果、その美しいといふことが、脂粉の色彩を意味するのでなく「皮膚の健全」であると共に皮膚そのものが土臺から美しくならねばならぬのであります、然るに從來の誤つた化粧法から生み出され、而して科學思想の幼稚なときには、此の化粧の本義が見出されずに、化粧といへば脂粉の色彩であるかの如くに思ひ、爲めに皮膚の害せらるるのも知らず、有毒なる白粉類を塗り立て、甚だしきに至つては、舞臺に立てる俳優の變相を眞似たり、浮華な女優式化粧を眞似たりして、一面に於てその天然の美を失ひ、一面に於て家庭の神聖を汚瀆し、知らず識らずの間に墮落卑猥の風俗を助長するやうになつて、さて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も豫想しかれていらつしやいましたが、兎に角今回の兩大關たる事は疑ひありません。いづれ來る十五日には審査の發表がある筈ですから、其の時は細かく皆様に御報知する事が出來ると存じます。

口體重の標準量

今回の當選者の資格は、發育體重の標準より五百匁を越した、發育の優良なものと申すことでございます。左に其の標準を示せば。

生後一ケ月一、〇四六。同二ケ月一、二五六。同三ケ月一、四三七。同四ケ月一、五七六。同五ケ月一、七〇三。同六ケ月一、八〇七。同七ケ月一、九四一。同八ケ月二、〇二四。同九ケ月 二、一三四。同十ケ月二、二〇七。同十一ケ月二、二七九。同十二ケ月二、三二九です。

（きよ子）

辨當の菜に

手塚かね子

口魚に代る滋養物　魚に代る蛋白質と脂肪とを含んで居るものは、湯葉であります。俗に大阪湯葉と稱へる生湯葉の親指位のが一本一錢でありますが、これを二本に里芋でも一寸あしらへば、お辨當のお菜としても、惣菜としても、結構でせう。

口湯葉と里芋の煮付　湯葉を洗つて、鰹節のいゝだしの中に入れて、初め砂糖丈けで煮ふくめ、下ろし際に醬油を入れます。里芋はよく茹でゝわらくなさり、新らたにだしにてよく煮ふくめ、砂糖を入れ、下ろし際に醬油を入れます。これはよく煮しめる程いゝ味が出ます。里芋に柚子をかけるのは、普通ですが、けしをふりかけたのも上品です。

口牛肉と絲生姜の煮付　牛肉と絲に切つた生姜とを味淋、砂糖、醬油を入れて煮込み、後肉をあげて汁丈け煮詰めて、この中に肉を入れて煎り付けます。

口莢隠元　莢隠元を湯に入れて茹で、軟らかになりたる時、砂糖と鹽にて味をつければ、色が美くしくて居ります。只私共の口に合ふやうには、やはり上げ際に鹽の代りに醬油を入れた方がようございます。また隠元をしたぢで煮て、胡麻和へにしたのもよいものです。胡麻和へは黒胡麻を煎り、熱い中に擂り、砂糖を入れ、醬油で味をつけ、れんばりと餡のやうになつたのをつけます。

口美容素オキシナー　赤坂溜池オキシナー商會の發賣にかゝる、美容素オキシナーに從來の有ふれた品と異つて日米兩國の藥劑師なる中村辰一氏が十數年間彼地の有名な化學研究所や化粧品製造元について苦心研究の結果、色を白くするに最も有効な過酸化水素を主成分として、それに美顔原料數種を取混へ、最新の化學を應用して創製した美顔元素でありますから、之さへ御常用あそばせば、きつと美しくなることは請合であると仲々の評判でございます。

も家庭に於ての眞面目なる威儀、堅實なる家風に容れらるべくもありません。神聖な家庭に相應はしい、眞面目な堅實の家風を象徴する眞の化粧——家庭に於ける化粧は、——高尚で美しく、皮膚の爲めに滋養となり、化粧の力によりて自然の美が養はれるクラブ式化粧でなければ、他に用ふべき化粧はありません、眞の化粧はクラブでなければ出來るものではありません、即ちクラブ式化粧は、一面に於て美しくなり、家庭の神聖なる象徴として、浮華なる風俗から脫し、高尚で品位があつて、そして生來の美しさになり行くべき眞の化粧であります。それは最も進んだ科學の精華から生み出され、優秀なる品質を具へて、皮膚の衛生に叶つて、皮膚を美化すべき作用を遺憾なく備へた、理想の化粧品として、現代の要求せらるゝ眞の化粧を、心のまゝに施し得らるゝクラブ化粧品を用ひて、之を科學的に各自の皮膚に應じ、年齢により、場所に從ひ、時に應じて合理的に化粧するに限ります。そこで如何に此のクラブ化粧品を使用して化粧すべきかに就て、一斑を說いて見たいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オハナシ

虹の花（下）

恭子

神様は可愛らしい子供が何を話して居るのか知りたいと思召しましたので、天使を御呼びに成つて、「彼の二人の子供の話を聞いて參れ」と御命令に成りました。天の使は畏こまりましたと申上げて、直に下へ下りて參りました。而して二人の御家の傍で翼をやすめて立ちました。二人は何の氣もなく御話を續けて居たのです。やがて天使はすつかり二人の御話を聞いて了つて、又眞白い奇麗な翼を動かして、神様の處へ歸つて參りました。神様は御待ち兼ねで、どんな事を話して居たと御聞きに成りました。「ハイ。あの子供達は洪水で奇麗な花や草がめちや／＼になつて可哀想だ。しかし神様はまたきつと咲かして下さるだらう」と一人が申ますと、一人は「けれどもそれまでお花を見ないで居るのは淋しい。」と申て居りました。」と御答へ致しますと、神様は「さうが」。とおつしやいました。而してあの可愛い子供達が淋しいのならば何か慰めてやりたいものだと御考へになりました。

其から少したつて、神様は、未だ少し降つて居た雨に「もう宜しい」。とおつしやつて止めさせて御了ひに成りました、而して太陽の方を向いて「御前の仕事を御始め。」と言ひなさつたのです。するど太陽は其眞丸い元氣な御顔を空に出す支度を始めました。太陽が未だ全く空に出切つてしまはない時、其光線が少し向ふの空にさしました。而してそこにまだもや／＼して居た雨のかたまりに打突りますと、まあどうでせう。今迄何も見えなかつた處に、奇麗な／＼色の、大きな橋がかゝりました。それは美しい帶を擴げたやうにも見えます。此時迄餘念もなく話し込んで居た彼の二人の子供は、ふと顔を上げて空の方を見て驚きました。「アラ、アレ、御らんなさい。」「ヤア何んだらう」。「奇麗ね」。「奇麗だなあ。赤もある、樺もある。黄色も綠も、青も紫もある。奇麗だなあ。」と叫びました。而して二人とも大きな聲で「お父さん。お母さん。早くいらつしやい。」と呼びました。

十四

皆は何が起つたのかと出て來て、子供の指示す方を見て驚きました。皆が、「奇麗だ、見事だ。」と叫びました。而して皆今度の長雨と洪水で困つて退屈して居た時でしたから、大變に歡喜びました。皆の御顔は、嬉しさうに晴れ／＼と成りました。而してもう退屈したやうな顔が一つもなくなつた時に、その美しい物は靜に消えて了ひました。「今の彼の美しい物に名前をつけやう。」と皆は相談致しました。而して虹と云ふのがその名前に成つたのでした。今でも、時々、雨上りの空に、虹は彼の奇麗な色彩を見せる事が御座いますね。あの橋をかけたやうな、帶を擴げたやうな虹がね。（をはり）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

古池のほとり（上）

廣田花崖

一

十五夜の日は朝から其夜の月を危ませるやうな重苦しい空であつた。折々ペンを投げ出して晴れやうと悶きながら何うしても思ふやうに晴れ得ないと云つたやうな薄光の空を見上げた時に私は不圖蓄音機を思ひ出した。いつであつたか桃太郎さんを鳴らしながら廻轉調節器を弄つて居ると、廻轉が急に遲くなつて桃太郎さんが聲を出さう〳〵と息も絕え〳〵に歌つて居る調子が、よく此日の空具合に似て居るのであつた。

午後四時頃になつても空は依然曇よりとして快い息を吐かせなかつた。それでも命じて置いた俥は二臺揃つて五時少し前に庭へ這入つて來た。私は其一臺に乘つて他の一臺には安樂椅子、蒲團、莚、茣蓙、鎌、毛布等を混雜に積み込んだ。私が俥の上で空を見上げて考へ込んで居ると兄が椽から聲をかけた。

「おい、本當に持つてゆくのか？」

「うむ。」

私は杖代りにした日本刀に眼を落して思はず微笑んだ。之は數日前祖母の長持の底から出た赤鰯無銘の名刀である。

「大蛇が出るぜ。」と又兄が云つた。

「一寸逢つて見たいやうな氣もする。」

「强さうな事を云ふぜ。昨夜新墓で骸骨が出た話をしたら、其樣な話はよしてくれと云つたぢやないか。」

「あれや夜だからさ。」

「此夜だつて夜だぜ。」

私が一寸返答に窮して居る沈默を母の聲が破つた。

「大蛇は何だけど風邪を冒かないがいゝよ。」

「風邪なら俺は嫌だから大丈夫だ。」

母や兄が笑ひ出す途炭に俥夫は私の笑聲を載せて引張り出した。

人家を放れて廣い往還から、小松の密林の間を縫ふ小徑へ這入ると、草に匿れた凹凸が急に俥を動搖させ初める。一面に芝の生へた長い坂を下りて切通しのやうな崖間を逆に左へ折れると、池の一部が一面に葭に被はれて眼に入る。私は之から池の西側から東側へと不正長方形の三邊を廻らねばならないのである。道の凹凸はいよ〳〵烈しくなつて、ともすると私と水面との角度が甚しい鋭角になる

「おい、落ちるのは構はないが、水の中ぢや少し困るぜ。」

「え何大丈夫です。」と俥夫は左手に力を入れる。俥を足にして居る私には俥から落ちた經驗が三度ばかりある。二三年前鶴見河の橋の袂で俥體が足臺のところで二つに裂け、私は猛烈な勢で後ろへ俥諸共轉倒つた時に、驚いて驅け寄つた俥夫に「俥が壞れたと思つて驚いたか、それ共俺が怪我をしたかと思つて驚いたか」と仰向けに寢た儘呵々大笑したことを思ひ出して私は可笑しくなつた。

「あの時は全く滑稽だつたな。」と私が云ふと、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「えへゝゝゝ。」と俥夫は正體の知れぬ笑ひ方をして居る。

　前の方でガサ〳〵音がすると思つたら、眞黑な百姓の若者が三人出て來て、俥と擦れ違つた。さうして、彼等は云ひ合したやうにピタリと止つて振り返つた。

「强盜が俥へ乘つて行くとでも思つてるんでせう。」と俥夫は云つた。

　筒袖の浴衣に、刀を杖にした私と、其後から來る異樣な荷物を載せた俥とは、殊に此池あつて以來幾百年人力車の通つたことの無い、と云ふより寧ろ常識で判斷しては俥の通れる道とは思へないやうな道なのだから、彼等は餘程驚いたらしい。私が角を二つ曲つて豫定の通り下方に細長い谷田を控へた廣い堤に着いて、水面遙に對岸を見渡した時迄、其姿は根が生へたやうに立つて居た。

二

　俥夫は先づ堤の中央あたりの草を一坪ばかり刈つて、私の安樂椅子を据ゑた。それから荷を曳いて來た俥夫の又公は食物を取りに引返す。私の俥夫の助公は私から十間許離れて自分等の場所を拵らへて居たが、やがて彼も槇を貰ひに行つて來ると云つて谷田の縁を下へ下つて行つた。私は獨りになつた。

　是處で一晩暮すのだなと思ひながら、私は改めて周圍を見た。微な夕照の色も既う消えて仕舞つて、鉛色の雲に壓迫けられたやうに空氣は靜まり返つて居た。

　約一町歩餘の池面は、其略三分の二が一丈もありさうな葭に埋められ、殘りの水面には一杯の水草が生へて、ザワリと云ふ音もなく靜まり返つて居た。人里離れた山間の窪地には勿論人の聲も聞えなかつた。只折々右の山奥くボー〳〵と鳴く鳥の聲と水に飛ぶ蛙とが、どす黒い神秘のやうな沈默を搔き亂すだけであつた。すると突然豫期しない近くで草を踏む音がした。「誰だ！」と私は闇をすかした。

「煙草の火をいただきたいんで。」

　それは野返りの百姓が火を貰ひに來たのであつた。五分ばかりで其男は返つて行つた。彼が一町も行つたかと思ふ頃其方面で又誰だ！と云ふ聲が起つた。よく誰何される男だと微笑してる處へ、助公が松槇を一把擔いで返つて來た。

「又さんも來ますよ。」と助公は大きな聲で怒鳴りながら、自分の方へ焚火をし初めた。遙か彼方の丘を下へ下へと來る提灯は又公であらう。

十六

「狐火見たいだな。」「えー。」

「お前は去年狐に憑かれたつけな。」

「えゝ、全く妙なものですね。」

　二人の聲は水に當り、小山に當つてイヤに寂しく反響する。

「持つて參りました。」と又公が堤へ上つて來た。德利と岡持を下げて居る。

「何うも燃かねえ。」と助公が訴へるやうに淚を拭く。又公が代つて燃し初める。焰がパッと水に映る。

「何うだい、聟に行つたゞけに巧いだらう。」と又公が妙な自慢を云ふ。それから彼は印半纏を脱いでバフリ〳〵煽ぎ立てる。槇はドシ〳〵燃え上つて來る。

「聟だけあるな。」と私は遠くから聲をかけた。

「アハ、、、、。」と笑つた俥夫等の聲が水面を走つて三方の丘へ衝突つた。

「遠慮なしに飲んだらよかろ。」と云つて私は空を見上げた。月が丘の陰に上つたのであらう。少し薄らいだ雲が白々しく光り出した。谷田や丘の上から可愛らしい聲が漸々近く聞えて來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□遣露宮御歸途に就かせらる　日露親善の聖旨を長みて露國に使せられたる、閑院大將宮殿下にはめでたく御使命を果させ給ひて、二日御機嫌美はしく御歸朝の途に着かせられ、露國皇叔ゲオルギー太公殿下は、四名の隨員と共に哈爾賓迄御見送り遊ばされました。

□立太子式の御日取　立儲式の御準備も略成り内定したる御日割は、下の如くです。十一月一日神宮に勅使發遣の儀、神武天皇山陵並に明治天皇山陵に同上の儀。同三日賢所皇靈殿に奉告の儀、神宮に奉幣の儀、神武、明治兩天皇山陵に奉幣の儀、賢所大前の儀賢所皇靈殿親謁の儀、正殿朝見の儀。同四日五日宮中豐明殿饗宴の儀。

◉露國内務大臣更迭　露國内務大臣フウオーストウ氏は依願免官となり、國會副議長プロトーポウ氏が其後を襲ひました。

◉英軍のチーブヴアル丘占領　二十六日午後英軍の手に歸したチーブヴアル丘は、獨軍の難攻不落と稱して居たもので、今回の占領は實に聯合軍側の目覺しき勝利とも申すべきものです。

◉希王に參戰慫慂　希臘國民は、政府要路の大官陸海軍將校等の後援を得て、コンスタンチン皇帝に宣戰を逼つて居ります。今後王が民意に反對する時は形勢益々險惡なるを思ひ、政府は近く勃國に對し宣戰を布告さるべしと傳へられます。コルフ島の如きは、政府國防委員より何等かの沙汰ある迄自治を布く旨布告致しました。

◉倫敦の結婚最高記錄　千九百十五年の倫敦に於ける結婚の數は實に五萬八千の多數に上り、從來の最高記錄を示しました。これは云ふ迄も無く、戰爭に基因するものでせうが、出産率は却つて百分の一方の減少を示して居ると傳へられます。

◉獨逸の一夫多妻主義　獨逸のヴエッケンクラホースキー、エーレンヴエルフ等の諸教授は、戰爭の爲めの人口減少を補充する方法としては、一夫多妻主義を採用するにありとの意見を發表したと申します。

◉前露國大使令息の戰死　前駐日大使マレウスキー、マレウイッチ氏の末子アンドレイ、ニコラエウイッチ氏は九月十六日敵軍の鐵條網に突進中、遂に敵彈の爲めに前額を貫通して即死を遂げました。同氏は高等學校在學中此の大戰に遇ひ、兄君と共に昨年志願して軍隊に入り、今春少尉に昇進され、同時に戰線に赴かれたので年齢は確か二十歳との事です。

◉二位局に邸宅を賜はる　畏き邊にては豫て二位局柳原愛子刀自に對し、一昨年來邸宅御下賜の御内儀あり、一時は伏見桃山附近に選定せらるゝならんとの説がありましたが、種々の事情から刀自が東京を去る事が、出來ません故、東京に選定することとなり、銓衡の末四谷西信濃町十四番地に千七百坪の宅地を得て御下賜さるゝ事となり、明年一月から宮内省内匠寮の設計にて新築工事を起す事となりました。刀自の本邸をこゝに選定せられたのは、場所が邸宅に適したるは申す迄もなく、御建設中の明治神宮にも程遠からぬ御場所柄なるを以て、旁々兩陛下の御内意奉承の上、御決定相成りたりと承ります。

◉山崎博士の光榮　東京帝國大學理科大學教授理學博士山崎直方氏は、二日東宮御學問所の地理學御用掛りを仰付られました。

◉澄宮新御用掛　日本女子大學校附屬高等女學校教諭弘田由紀子女史(三六)に對し去る一日第四皇子澄宮崇仁親王殿下附き出仕(奏任待遇)仰付らるべき旨御沙汰あり、二日より青山御所内の澄宮御殿に出任して先任の木澤出仕と共に常侍奉仕の光榮を荷ふ事となりました。女史は土佐で有名なる國學者弘田琢磨翁の次女で、その血を享けて、忠君愛國の至誠に燃え、國文學に造詣深く、和歌に堪能にして、三四年前より既に東伏見宮邸に毎週一二回宛伺候して、同宮妃周子殿下の和歌の御相手を申し上げて居りましたので、今回出仕されるに就いても、萬事好都合の事と存ぜられます。

◉婦人の實業練習生派遣　農商務省から派遣された海外實業練習生五名中、唯一人の婦人久津田廣子女史は三ヶ年の期間にて倫敦に渡り、婦人洋服の裝飾品、及び染色法について、研究をさるゝやう、命ぜられました。女史は、名古屋市立高等女學校を卒業後女子大學英文豫科を了へ、女子美術學校の刺繡と編物科を修め、此の七月卒業致しました。渡英後は工場に就て實際に研究さるゝとの事です。

◉女高師を出て救世軍へ　大正二年東京女子高等師範の文科を了へて、山梨縣立高等女學校及び東京英和女學校に教鞭を執られた、岡田ひさ子(廿三)女史は、教育界の生活にあき足らず、強き決心を以つて其の職を捨て、此の程救世軍に入つて士官候補生として學ばれる事となりました。

◉新女醫十一名　本月十八日より廿六日迄、永樂病院に於て施行せし、最終の醫術開業試驗後期實地試驗に及第せしもの、六十八名中十一名の女醫及第者がありました。其の氏名左の通りです。

岐阜縣平民澤田しき▲東京府平民赤阪美佐子▲大阪府平民朝田和▲三重縣平民河口たき▲靜岡縣士族青沼源▲愛知縣平民林はな▲東京府平民小栗元▲三重縣平民角田よつ▲岐阜縣平民田中稻枝同森知惠▲群馬縣平民戸田くに

◉市小學校の增築案　奧田東京市長から市參事會に提案したる小學校增設案の内容は、學齡兒童の增加並に校舍の狹隘に伴ひ新築を要するもの五十四校、改築二十六校、特殊小學校三校、私立小學校廢校に伴ふ新設一校、及び既定計畫にして尙未建設の高等小學校三校の八十七校で大正五年度より同十七年度に亘る十三年計畫を以て完成せんとするものです。これに要する建設費金年度割は五年度十萬圓、六年度七十三萬圓、七年度七十五萬圓、八年度以降十七年度迄每年七十八萬

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

圓宛支出するので、財源は每年支出したる六十三萬圓と、電車經濟よりの融通資金十五萬圓を之に當つる事となつて居ります。この案の決定を見る時は、今迄二部敎授をして居た三百四十學級中、百八十六學級は本年中に徹廢する事が出來るさうです。

◉盲人の愛讀書　本鄕及び小石川の兩圖書舘に併置された盲人圖書舘は九月五日から開かれ、盲人の來舘者も日を追ふて多くなつて參りましたが、其の愛讀書は娛樂的の文學書が多く、不如歸・金色夜叉等は希望者が最も多いとの事です。其の他數理、醫、歷史、紀行、哲學書類も多少讀まれて居りますが、程度の低いものの方が、喜ばれて多數を占めて居ります。因に同舘の點字圖書は凡そ百七十五册で、學術上の難かしいものから日常の事に至るまで、大抵は網羅されて居ります。

◉二十萬圓を公共事業に　通稱八木平として知られたる、名古屋市南鍛冶町二ノ五木綿問屋八木平兵衛氏は、每年一定の豫算を以つて慈善事業を行ひ、學生を養成して參りましたが、今回熱田方面の宅地水田を二十萬圓にて賣却し、全部を公共事業に投ずる事となりました。事業の選擇は識者に一任すべく、該金額は一時に消費せしめず、財團法人として、其の利子を以つて經營する事になるでせうと申します。

◉簡易保險實施　愈々十月一日から開始せられた簡易保險申込の成績は極めて好く、二日遞信省の公表によれば、北海道及び一二未着のものを除きて、全國加入者の合計は五千九百あり、未着の見込數は二千五百なるを以つて、多分八千四百位の多きに達すべしと申します。

◉婦人問題研究會　九月三日午後五時より麴町區八重洲町中央亭に於て、暑中後初めての會が開かれ、丸山警保局長の「私娼撲滅策に就て」と云ふ講話がありました。例の如く學者名士の集る者四十餘名、津田梅子女史外三四の婦人も見受けました。

◉大妻技藝學校の發展　大妻一惠女史の經營にかゝる大妻技藝傳習所は、明治四十一年の創立にかゝり、以來卒業生を出すこと七百二十一名、二回開催の講習會に於て終了者を出したる事、四百七十二名の多數に達しましたが、九月十四日附を以て東京府より認可を得たるに付、同月卅日私立大妻技藝學校と改稱されました。

◉新眞婦人の貞操問題演說會　十月八日午後零時半より神田橋際和强樂堂に於て、新眞婦人會主催の下に、貞操の眞意義（西川文子）貞操と家庭の平和（吉岡彌生）貞操團講演會に就て（矢島楫子）貞操問題の研究（內ヶ崎作三郎氏）等の演說がある筈。

□幼年エバナシ　牛込區甲良町二三東京出版社發行の幼年エバナシは男の子にも、女の子にも喜ばれさうな上品で奇麗な繪とオハナシを滿載して、代價もまた安く一册八錢です。

個人消息

△秋月菊子（前駐墺大使令孃十九歲）長らく病氣加療中の處其の効なく、遂に十月一日夜永眠されました。

△岩淵時子　女子大學英文科出身の秀才にして、普連土女學校より留學生として送られたる同女史は、米國コロンビヤ大學を目出度卒業の上、近く歸朝せられたるに付、十四日同校に於ては盛んなる歡迎會を催す由

△河村明子　茅野雅子女史の指導を受けたる同女史はまだ若けれど今度日本橋本銀町一ノ八銀鈴社にて、和歌初心者のために個人通信敎授を初める由

編輯室より

▲けふの發行日六日は恰度去年編輯所を定めて、此處に引移つた日です。もう一年經ちました。然し皆樣の尠ながらぬ御同情と御後援とで、日に月に順潮に向ひ最も困難なるべき初の年に、今日の成長を見る事は何といふ有難い事でせう。▲この感謝の中に、來月早々本紙の初誕生を迎へる事とて、內にも外にも新裝を凝らして、讀者諸氏に見えたいと、今から心をこめて準備して居ります。讀者諸氏にも、この期に際して尙一層の御援助を仰ぎます。▲花瓶にさゝれた眞白の小菊に秋の色が集まつて居るかの如く、その香の薰ずる下に、自らしんみりした心地になつて、この編輯を終りました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報（每週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子　東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社　振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

新女界

第八巻第拾號

十月號

見本進呈

一部十二錢　半年七十二錢　一年一圓四十錢

□東西戰局の形勢……吉野博士
□精神界の經濟……河井道子
□コレラ病について……栗本庸勝
□惡友の誘惑……尾田信忠
□兒童の養護……三田谷啓
□クリスチヤンの情操……海老名彈正
□婦人子供博覽會を見る……海老名みや子
□初秋雜感……野口精子
□蜜柑實（小説）……廣田花崖
□茸の鑑別法と松茸料理……岩井操
□日常生活の改良……山脇博士

東京小石川區林町四三
新人社
振替東京一四〇〇五

四先生の巻頭文

加納子爵　山脇博士　棚橋絢子　嘉悦孝子

非常な評判にて
忽ち四版

貯金の出來る生活法

(一)貯金の出來ぬは仕方の惡しきため、本書を讀めば**ドンナ**家庭でも樂に貯金の出來ること請合也
(二)本書に載せたる大小七十三の家計は、總て生活難の渦中にありて貯金に成功せる主婦の實驗也
(三)僅か十五圓の月給取が千圓を貯金した實例をはじめ、すべて一讀千金の價値ある貯金の秘訣也
(四)第一附錄『貯金の仕易い豫算の立て方』は、多年の實驗より得たる秘法にして生活難救濟の鍵也
(五)第二附錄『東西偉人の勤儉逸話』は、明治天皇以下五十偉人の言行錄にて實に日常生活の福音也

（美裝四六約三百頁　金五十錢送料四錢）

東京巣鴨宮下町　振替三三七八六
東京家政研究會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋内科醫院

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町六二番

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります

和洋服 外套インバ（東コート）ネル・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニングと染色を丁寧親切迅速に致します

○局部シミヌキ
○御一報次第參上

各國大公使館
帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際 電話新橋三一〇八

古本高價に買受ます

御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴巻町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四二一

產科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

内科 小兒科 第一家庭病院

院長 醫學士 加用信憲
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇二）
（入院隨時）

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二三五七
東京至誠病院

料理講習會

會席料理 毎週土曜日午前中 會費一回卅五錢 束修五十錢
西洋料理 毎週月、金午前中 會費一回五十錢 束修五十錢（主として主婦の爲）
外に主婦以外の婦人の爲 毎週水曜午前中開催 會費一回五十錢束修五十錢
本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

生徒募集

裁縫。刺繡。造花。編物。袋物。摘み細工。綿細工。壜細工。縫細工。儀式用折紙。水引結方。
（以上短期卒業）

（東京市麴町區靖國神社右横）
私立 大妻技藝學校
（舊名）大妻技藝傳習所

其他別科生は月謝免除。材料貸與。二科目選定。三ケ年卒業。二學年生より製作品に對しては工賃を支給す。卒業の上は敎師として採用又は紹介す。
（詳細は規則書郵券二錢を要す）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十月の三越

□第卅二回新柄陳列會 □一日より十日迄

□寄切見切反物賣出し □二日より二十五日迄

□第三回美術展覽會 □一日より十五日迄

□新作畫幅『菊花』展覽會 □二十日より三十一日迄

□二科美術展覽會 □十三日より廿六日迄

東京 三越呉服店

肝油服用者之福音

三百粒入 [illegible]圓
百粒入 七十錢
五十粒入 [illegible]
送料各八錢

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

- 身體の弱き人
- かぜ引き易き人
- 腺病の人
- 夜盲の人
- 冷え性の婦人
- 肺の惡しき人
- 貧血にて艶のなき人
- 血氣の少ない人

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂[illegible]三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話芝六二八〇番
振替東京七〇八一番

體力精力増進に今が肝油服用時期

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

御料 御園白粉

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして専ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乗りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
粉おしろい 御園の花
御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
御園の蕾
洋風化粧下 御園クレーム
高等香水 御園香精
御園の橘
御園香油
高等はみがき 御園齒磨

製造本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA